

平成 29年 9月作成

認知症総合支援事業に関する市町村の取組

福島県 会津美里町

福島県 会津美里町

基礎データ

作成時点: 29年 9月

- 総人口: 20,885人 (H29.8.1時点…会津美里町調べ)
- 高齢者人口: 7,420人 (H29.8.1時点…会津美里町調べ)
- 高齢化率: 35.5% (H29.8.1時点…会津美里町調べ)
- 要介護・要支援認定者数: 1,572人 要介護認定率: 21.2%
(H29.8.1時点…会津美里町調べ)
- 日常生活圏域数: 1圏域
- 地域包括支援センター数: 委託 1ヶ所
- 第6期介護保険料: 5,600円 (厚生労働省ホームページより)

【認知症総合支援事業】

認知症初期集中支援チーム (平成28年4月 設置)
平成27年10月からの県のモデル事業を経て設置。

チーム員職種内訳	人数
保健師	1
看護師	2
介護福祉士	1
医師	1
日本認知症学会認定医でサポート医	
チーム員の総数	5

1 設置状況 (設置人数、チーム員の職種、設置場所)

- ・ 1チーム 5名 (町、高田厚生病院、地域包括支援センターの3ヶ所に窓口を設置) その他スーパーバイザーとして、精神保健福祉士2名、作業療法士1名、社会福祉士1名、その他1名を配置。

訪問支援対象者把握の主なきっかけ (訪問に至るまでの流れ)

地域包括支援センターが窓口となる外、医療機関や介護事業所への相談で繋がったケースもある。

2 取組の状況

- ・ 対象者21名のうち訪問実人数は9名(訪問延べ件数18件)、専門医を含めたチーム員会議は月2回(第2・第4火曜日)開催している。チーム検討委員会は年1回開催。
- ・ 医師の同行を想定はしているが、現状では同行はなくアドバイスのみ。
- ・ 対象者は少ないが、地域包括支援センター、病院、町で、共有・支援方法を相談できる仕組みができ、以前に比べて連携強化ができています。

認知症疾患医療センターとの連携状況

モデル事業として実施していた頃から、ケースにより必要な時に連携している。



3 今後の展望

- ・ 住民への周知、浸透が不十分と思われるので、まだ接触できていない支援が必要な人を見つけて出すため、周知範囲を広げたり、様々な方法での周知を行う。

認知症地域支援推進員 (平成27年7月設置)

1 設置状況 (設置人数、職種、配置場所)

- ・ 設置人数: 1名 職種: 介護福祉士 配置場所: 地域包括支援センター(委託)

2 取組の状況

認知症の人を支援する関係者の連携を図る取組

- ・ サポート会議 (年3回、研修教育部会、サポーター部会、広報部会は随時開催)
 - ・ 認知症セミナー (一般住民、関係者各1回ずつ)
 - ・ 認知症施策出張講座 (周知不足を解消するため各事業所で実施)
 - ・ 認知症サポーター養成講座は、小中高等学校を回り講座を行っているほか、依頼に応じて5~6名の集会所単位でも実施している。また、ステップアップ講座を年2回実施し、認知症カフェや予防教室のボランティアとして活躍してもらっている。
 - ・ 認知症ケアパスは全戸配布済みであり、今後更新を予定している。
 - ・ 劇団オレンジげん(医療・福祉関係者等で構成)による寸劇により、認知症の人への対応方法等を啓蒙啓発。
- 在宅生活継続のための相談・支援

- ・ かえるNETシステム事業 (QRコードを活用した見守りシステム)
- ・ 見守りサポート訓練の実施 (今年度は範囲を絞り声かけ訓練を実施)

認知症の人とその家族を支援する相談支援や支援体制構築の取組

- ・ 第2、第4土曜日に地域包括支援センターにおいて相談会を開催
- ・ 認知症カフェ(美里カフェとして旧3町村の4ヶ所で開催。場所を変えながら、ミニ講話と音楽をテーマに実施)

3 今後の展望

- ・ 既存施策の充実を図りながら、当事者の声を施策に反映させるための当事者の活動を推進していきたい。

福島県一認知症にやさしい町の実現に向けて

福島県一認知症にやさしい町の実現のために、会津美里町では関係機関と協力しながら、さまざまな認知症施策を行っています。

認知症サポーター養成講座



認知症のことを正しく学ぶ認知症サポーター養成講座。これまで3,339人が受講しています。今年度から町内全小中高校でも養成講座を行っています。子どものころから、認知症のことを知ることで、地域の中でも支え合い助け合うことを学びます。一般の方向けにも公民館などで講座を随時行っています。また受講された方向けにステップアップ講座も実施しています。

劇団オレンジげん



町の認知症施策に少しでも関心を持っていただき、劇を通じて認知症の方々への対応方法等について、啓蒙啓発活動を行う劇団です。劇団員は、包括支援センター、居宅介護支援事業所、病院、介護保険事業所、役場等様々な専門職種から構成されています。住民セミナーや敬老会、サポーター養成講座等で発表しています。

認知症カフェ



おいしいコーヒーを飲みながら認知症や高齢化について、ゆるやかに学び合うカフェを開催しています。一般住民と認知症の専門職との出会いの場でもあります。どなたでも参加できますのでご参加ください。町保健センターや教会等、多くの人が集まれる場所で開催しています。

認知症サポートガイド(ケアパス)

認知症の人やその家族が安心できるように状態に応じた適切なサービス提供の流れを示したガイドブックです。認知症に対する不安を減らすことができるよう支援などの情報がまとめてありますので活用してください。



平成27年6月 町内全戸配布



認知症見守りサポート訓練



認知症行方不明者の早期発見や声かけ、行方不明者発生時の連絡体制の整備のための訓練を行っています。認知症になっても安心して暮らせる町の実現のため、毎年訓練を実施する予定です。また、認知症などの症状により行方不明の連絡が入った際「見守りサポートメール」の登録をされた方に対し、行方不明者の情報などをメール配信します。より多くの情報が早期発見につながりますので、多数の方の登録をお願いします。

認知症カフェ

In 高田 **みさと美里** カフェ

予約や会費不要です

認知症について話しましょう！

★素敵な音楽と美味しいコーヒーでおまちしています★

場所：高田教会 (高田小学校向かい)
日時：平成29年9月30日(土) 13:30~

♪音楽提供♪ **Fairy Land**



- 1部 13:30~ カフェタイム
- 2部 14:00~ ミニ講話「認知症について」
- 3部 14:30~ カフェタイム

◆問い合わせ 会津美里町高齢者あんしんセンター◆

◆会津美里町高田甲 2866 (高田信用金庫向かい) ◆電話 56-2256◆
会津美里町認知症施策の一環で開催されています
認知症カフェは、国の認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)に位置付けられております

かえるNETシステム

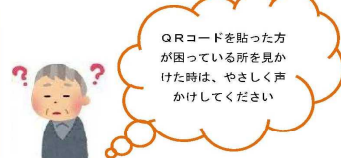
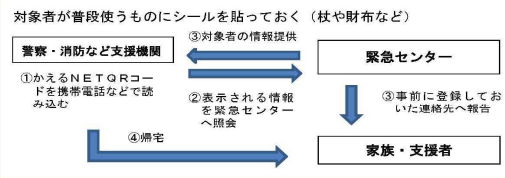
認知症対策サポート会議からのお知らせ

■ご存じですか?『会津美里町かえるNETシステム』

『会津美里町かえるNETシステム』は認知症などによって身元が不明な際、携帯電話などでQRコードを読み込むことで早期に判明することを目指しています。利用方法は、あらかじめ登録しておいた情報をもとにQRコードを印刷したシールを複数枚作成し対象者に交付します。対象者は普段持ち歩く物にQRコードのシールを貼ります。

日常生活の中で自分の居場所が分からなくなったり、自分の氏名などを第三者に伝えられなくなった際、事前に貼っておいたQRコードを読み込むことで早期に対象者の情報を得ることで身元が判明します。

【利用イメージ】



- 徘徊等の心配がありシステム登録を希望される方
 - 声かけ等の対応に困った方
- まずはご連絡ください!!

【お問合せ先：会津美里町役場 健康ほけん課 介護保険係 56-5-1145】